

学校教育目標

本気で学び 思いやりのある子

重点目標

聴こう 話そう

子どもの実態

- ・明るく、素直、子どもらしさをもっている。
- ・あいさつがよくでき、礼儀正しい。
- ・目標が決まるとひとつにまとめることができる。
- ・他者を思いやることができる子が多いが、自尊心が低い。
- ・共感的に聴くことができるが、話すことが苦手。
- ・家庭環境が複雑な子が多い。

目指す姿

- ・自分が好きと言える子。
- ・友達のよさを認めることができる子。
- ・大池小学校を自慢に思える子。

研究テーマ 「自分が好き 友達が好き 大池小が好き」

～自分の大切さ、友達の大切さを実感する子の育成～

研究仮説 ①

子どもが自分の考えをもって進んでかわり合う活動を意図的に取り入れた授業を行うことによって、一人一人が自分の大切さとともに他の大切さを感じ、**楽しみながら主体的に学ぶ子ども**が育つだろう。

研究仮説 ②

子どもたち一人一人の思いを教師集団が共感的に理解し、自己存在感や自己有用感を実感できるような指導を実践することによって、**集団の中で自他の大切さを実感できる子ども**が育つだろう。

研究仮説 ③

子どもが集団生活の中で、自分たちにとっての「じまん」をつくり上げる活動を行うことによって、**自分や友達、学校を大切にしながら成長しようとする子ども**が育つだろう。

学び部

【一人一人の考えを大切にする授業】

(目指す姿)

- ☆基礎学力が定着する。
- ☆共感的に友達の意見を聴く。
- ☆わかりやすいように相手を意識して話す。

(具体的な手立て)

- ◇自分の考えをもつための支援の工夫。
- ◇授業過程に「意見交流タイム」を位置づけ、かわり合いの場面を設定する。
- ◇授業過程に「分かち合いタイム」を位置づけ、本時の目標を通して自分の学びと互いのよさを認め合う時間を設定する。
- ◇「聴き方名人」「話し方名人」の掲示をし、スピーチで話す・聴く力をつける。
- ◇放課後学習指導の充実。丁寧な見届け。
- ◇家庭学習の充実を図る。

こころ部

【自他の大切さを認め合う心の教育】

(目指す姿)

- ☆自分のよさを実感し伸ばそうとする。
- ☆友達のよさに気づき認め合う。
- ☆規範意識を高め、よりよいものを目指して生活する。

(具体的な手立て)

- ◇重点指導事項を設定し、すべての教育活動での道徳教育の充実に取り組む。
- ◇「人間関係づくりプログラム」を活用し、学級内の子ども理解の充実を図る。
- ◇子どもたちの自己理解、他者理解を促すプログラムを計画的に実施する。
- ◇特別な支援を要する児童に全職員で関わる体制の充実を図る。
- ◇子どもたちのよさや成長を認める掲示を工夫し、温かい環境を作る。

特別活動部

【自分たちにとっての「じまん」をつくりあげる特別活動】

(目指す姿)

- ☆学級、学年、学校のじまを、自信をもって言える。
- ☆互いのよさを認め合う。
- ☆下級生を思いやり、上級生にあこがれをもって接する。

(具体的な手立て)

- ◇「集会」や「たてわり活動」で異学年の交流を深める。
- ◇クラスのじまを作るため、学級会を中心とした話し合い活動を充実させる。
- ◇大池小の3つのじま「あいさつ」「そうじ」「やさしさ」を学級や学年、思いやり活動で具現化していく。

授業づくり

環境整備・教師の人権感覚・保護者、地域の連携